

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年3月3日（火）13：30～14：30

松沢福祉館

出席者：5名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、大和田企画統計係主査

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○町名変更は大きなことだと思うが、なぜ公約に盛り込まなかったのか。

→（町長）

ふるさと納税や企業誘致などの公約の実現に向けた戦術の1つとして町名変更を提案させていただいている。

○これまで農村部の説明会ではどの程度の人数が集まったのか。

→（鈴木課長）

多い場所で十数人で少なくとも4人である。

○投票が成立するための条件などはあるのか。

→（鈴木課長）

自治体によって色々な作り方があるようだが、色々な意見を聞きながら検討したい。今のところ投票率等は設けずに、投票数が多かった方にする方向では考えている。

→（町長）

思いを無駄にしないために、投票率を設けないのが1つの考え方だと思う。説明会の中で若い人の声を聞いた方が良いとの意見が多かったため、今後、なんらかのかたちで中学生と高校生の声を聞きたいと思っている。

○上川郡が不要と感じているが、そのまま残るのか。

→（鈴木課長）

権限が北海道になるので、今すぐどうにかすることはできない。

→（町長）

今の時代にあっていないことは確かだと思っている。正しい意味で理解できるものになっていない。

○道外の親戚にも清水町がどこにあるのかわからないと言われていた。商品や農産物は十勝と付いただけですごく評判が良くて、ブランド力が上がって、PRになると聞いていた。いい機会だと思っている。

→（町長）

道外の人に十勝産の商品はとても人気があると認識している。

○町名変更は歴史を変えることだと思っている。とても大変なことだと思っている。

→（町長）

町名変更は未来への投資だと思っていて、企業の住所から商品表示、履歴書の住所まで、全てに関わる経済の入口であり、町の基盤だと考えている。早ければ早いほどチャンスが広がると思っている。まずは町に興味をもってもらい、企業誘致などにつなげていきたい。

○町は過去には色々失敗あり、財政が悪化した。当時のようなことにならないために、今回も慎重に進めた方が良くと思う。

→（町長）

当時は公共施設を造りすぎた結果、長期的な費用負担が発生し財政状況が悪化した経過がある。町名変更にかかる費用は一度きりなので、過去に財政状況が悪化したようなことにはならない。町の基盤を整備するための投資だと思っている。

○中学生・高校生の意見も大事にして欲しい。

→（鈴木課長）

先入観のない率直な意見をもらい、参考にしていきたい。

5 閉会